2024年7月24日

各　位

会社名　　株式会社　モダリス
代表者名　　代表取締役 CEO　森田　晴彦
（コード：4883、東証グロース）
問合せ先　　執行役員　中島　陽介
（TEL. 03-6231-0456）

第16回バイオプロセスサミットにおける MDL-101の筋肉特異的改変型AAVベクター製造開発データの発表に関するお知らせ

2024年8月19日から22日にかけて米国ボストンで開催される第16回バイオプロセスサミット[注)]において、当社のSenior Director, Bioprocess DevelopmentであるSeth Levy博士がOral Presentationに採択され、Gene Therapy CMC & Analytics: Potency Assays, In-Process Testingセッションにおいて研究成果を発表します。
改変型キャプシドは、多くのグループで研究が進み目覚ましい成果を上げていますが、一方で実用化に向けた製造はまだ開発途上にあり、当社はそれに取り組む先頭グループの1社です。本学会では、当社が臨床に向けて開発中で、筋肉特異的改変型AAVベクターを採用しているMDL-101の製造方法、結果などを含む以下の内容の発表を予定しています。

- 筋肉特異的改変型AAVベクターの安定製造と品質管理の実現に向けた製造の上流、下流工程の改良点、分析手法の確立
- 天然型AAV9ベクターと筋肉特異的改変型AAVベクターの製造プロセス、結果の比較

注) 第16回バイオプロセスサミット(16th Annual Bioprocessing Summit）（URL；https://www.bioprocessingsummit.com）

当社の発表一覧は以下の通りです。

口頭報告:

演題名: In-Process Stability Testing with Novel AAV Capsid Variants
日時: 2024年8月20日　12-12:30PM EST
セッション名: Gene Therapy CMC & Analytics: Potency Assays, In-Process Testing

注) 第16回バイオプロセスサミットについて
バイオプロセス業界が一同に会し、経験と専門知識を共有し、細胞・遺伝子治療等、新規モダリティのバイオプロセスの機会を探求し、新規課題を克服することは、これまで以上に重要となっている。本学会ではバイオプロセス分野のグローバルリーダーが集い、バイオプロセスの上流及び下流工程における最新の分析法開発、品質管理、保証、製剤化、そして安定性向上等に関する経験と専門知識を共有し、バイオプロセス業界の発展を目指す。本学会では全世界から約1500名の参加者と、300の口頭発表、100のポスター発表が予定されている。

以　上